

# 大会プログラム



公開シンポジウム

## 恐竜学者の鳥のはなしと鳥類学者の恐竜のはなし

日時：9月19日（月・祝） 12：30～15：30

場所：共済ホール（〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地・共済ビル6階）

コーディネーター：江田真毅（北大・総博）・川上和人（森林総研）

趣旨：老若男女を問わず誰もがあこがれ、畏怖する古代生物、恐竜。そのほとんどは約6,600万年前までに絶滅したと推定されています。一方で、最近の研究によって鳥類が獣脚類恐竜の一部から進化した可能性は疑う余地がないほどに高まってきています。恐竜を研究する古生物学者と現生の鳥類を研究する鳥類学者。両者の最新研究の相互理解はお互いの研究の深化に大きく貢献すると考えられます。しかし、日本では両者が一同に会して議論する機会はほとんどありませんでした。そこで今回の公開シンポジウムでは、恐竜と鳥類の類縁関係について解説するとともに、世界の第一線で活躍する2名の恐竜学者に最新の恐竜像についてご講演いただきます。また、鳥類学者の立場から、復元された恐竜の生態からもたらされる鳥類学の新しい視点についても話題を提供します。

次第：

12：30～12：50 江田真毅（北大・総博）「なぜ鳥類は恐竜類と言われるのか？」

12：50～13：30 ○田中康平（カルガリー大）・Darla Zelenitsky（カルガリー大）・  
François Therrien（ロイヤルティレル古生物博物館）・小林 快次（北大・総博）  
「恐竜類の営巣方法を探る」

13：30～14：10 ○小林快次（北大・総博）・田中康平（カルガリー大）・Darla Zelenitsky  
（カルガリー大）・François Therrien（ロイヤルティレル古生物博物館）  
「非鳥類型恐竜類から鳥類への進化過程：食性と繁殖を例に」

14：10～14：20 休憩

14：20～15：00 川上和人（森林総研）「恐竜が吹けば、鳥類が儲かる」

15：00～15：30 パネルディスカッション

本シンポジウムは独立行政法人日本学術振興会平成28年度科学研究費助成事業（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」の助成を受けて開催します。

## 黒田賞受賞講演

ウミネコ集団営巣地の構造と機能

風間 健太郎（北海道大学 水産科学研究院）

日時：9月19日 10:00～11:00

場所：共済ホール

## プレナリー講演

PL1

北海道における鳥類の繁殖期の分布と鳥類相の特徴

藤巻裕蔵（山階鳥類研究所）

日時：9月17日 9:00～10:00

場所：A会場(E201)

PL2

種の生活史を追う面白さ —タンチョウを例として—

正富宏之

日時：9月18日 9:00～10:00

場所：A会場(E201)

# 口頭発表

## 17日午前 A会場(E201)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
生態	10:00	A01 都市近郊におけるオオタカの繁殖成績に影響する環境要因	○夏川遼生(慶應大・環境情報), 一ノ瀬友博(慶應大・環境情報), 樋口広芳(慶應大・院・政策メディア)
生態	10:15	A02 オオタカのフェノロジー - 渡り・定住・つがい関係 -	○阿部學, 中島拓也, 橋本哉子(ラプタージャパン: 日本猛禽類研究機構)
生態	10:30	A03 繁殖北限域におけるサシバの繁殖地選択に関する食物資源との関係の影響	○東淳樹(岩手大・農), 杉山大和(岩手大・院)
生態	10:45	A04 クマタカ巣立ち幼鳥の移動・分散	阿部學, ○中島拓也, 橋本哉子(ラプタージャパン: 日本猛禽類研究機構)
生態	11:00	A05 猛禽類による産卵後のシロザケ死骸利用と陸域輸送パターン	○松本経(北見工大・工), 越野陽介(道総研・さけます内水試)
生態	11:15	A06 カンムリワシの繁殖における雌雄の役割分担と雛の巣立ち行動	○晝間さよこ(東海大院・人間環境), 水谷 晃(東海大・沖縄地域研), 中本純市(石垣島BIRD観察), 田中詩織(東海大院・人間環境), 武藤大輔(東海大・海洋), 藤野裕弘(東海大・教養), 河野裕美(東海大・沖縄地域研)
生態	11:30	A07 鳥類vs火山~西之島史上最大の闘い~	○川上和人(森林総研)
生態	11:45	A08 長野県野辺山高原におけるカッコウの主要宿主の減少	○今西貞夫(国分寺市), 須田裕司(立教大・理), Diana Bolopo (Valladolid 大), 上田恵介(立教大学)

## 17日午後 A会場(E201)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
生態	13:00	A09 伊勢湾フェリーを利用した冬季におけるウミスズメ出現数と黒潮の関係	○新妻靖章(名城大学農学部環境動物学研究室), 山本蒼士(名古屋大学大学院環境学研究科)
生態	13:15	A10 船の周囲には空腹なアホウドリ類が集まるか	○井上裕紀子(水産機構・国際水研), 新妻靖章, 鷺見知美, 西村進之介(名城大・農), 香山薫, 五島渉, 吉川尚基(伊豆・三津シーパラダイス), 越智大介, 中東明佳, 勝又信博, 岡本慶, 南浩史, 大島和浩(水産機構・国際水研)
生態	13:30	A11 海鳥の非繁殖期における行動とその種間比較	○庄子晶子(北大水産・Oxford University), Annette Fayet (Oxford University), Stephane Aris-Brosou (Ottawa University), Tim Guilford (Oxford University)
生態	13:45	A12 ウトウの親と雛の餌でなぜ不一致が起こるのか	○大門純平(北大院・水産), 伊藤元裕(東大海洋研), 綿貫豊(北大院・水産)
生態	14:00	A13 シギ・チドリは、干潟を選ぶか? - 八代海干潟の底生動物とシギ・チドリ類 -	○高野茂樹(日本野鳥の会熊本県支部), 逸見泰久(熊本大・沿岸域センター)
生態	14:15	A14 イカルチドリの定住性と分散行動	○内田博(比企野生生物研究所)
生態	14:30	A15 日本産シロチドリ <i>Charadrius alexandrinus</i> の国内の移動と分類	○茂田良光(山階鳥類研究所), 守屋年史, 奴賀俊光(バードリサーチ), 佐藤達夫, 岩崎加奈子(行徳野鳥観察舎友の会)
生態	14:45	A16 東京都心におけるウミネコの屋上繁殖	○樋口広芳(慶應大・政策メディア研), 松丸一郎(都市鳥研究会)
生態	15:00	A17 自動車通勤者のカラス調査 - 車載カメラがあれば -	○森下英美子(文京学院大・環境教育センター)
生態	15:15	A18 札幌市で局地的に発生したカラス類の腸炎について	○中村 真樹子(NPO法人札幌カラス研究会), 福井 大祐(NPO法人札幌カラス研究会, NPO法人EnVision環境保全事務所), 岡本実(酪農学園大学)
生態	15:30	A19 ツバメは減少しているのか? - 3年間の全国調査の結果から -	○荒哲平, 葉山政治, 景山誠, 篠木秀紀, 萩原洋平(日本野鳥の会)
生態	15:45	A20 Attracting and retaining undergraduate students in science through research: counting birds to understand urban bird abundance and diversity.	Barnett Craig, Tsujimoto Daichi, Lin Chun Ho, Kurihara Nozomi (Department of Zoology, Kyoto University)

17日午前 B会場(E301)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
進化	10:00	B01 水鳥の後肢における血管系での熱交換機構	福田勝洋, ○岩見恭子(山階鳥類研究所)
進化	10:15	B02 鳥の適応放散はなぜ小さな群島でも起きるのか?	○山崎剛史(山階鳥研)
進化	10:30	B03 南大東島に隔離された亜種ダイトウコノハズクの形態的特徴: 頭骨の幾何学的形態測定からわかったこと	○澤田明(大阪市大・院理), 山崎剛史, 岩見恭子(山階鳥類研究所), 高木昌興(北大・院理)
進化	10:45	B04 最古の潜水鳥類ヘスペロルニス目の系統解析と潜水適応進化	○田中公教, 飯島 正也(北大・理), 小林快次(北大・総博), Timothy Tokaryk (Royal Saskatchewan Museum)
系統	11:00	B05 ミトコンドリアDNAによるクマゲラの遺伝的多様性の解析	○黒尾正樹(弘前大学農学生命科学部), 藤井忠志(岩手県立博物館), 十河尚旗, 八木橋隼士, 長井和哉(弘前大学農学生命科学部)
系統	11:15	B06 鳥類剥製標本の遺伝分析への活用の試み—キジの mtDNA 解析	○杉田典正(科博・植物), 西海功(科博・動物)
形態	11:30	B07 非虹色な青い構造色の羽毛の発色と微細構造	○森本元(山階鳥類研究所)
生態・行動	11:45	B08 放鳥後、野外で生存できたトキは、どんな個体属性を持っていたのか?	○永田尚志, 中津弘, 油田照秋(新潟大・CTER)

17日午後 B会場(E301)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
行動	13:00	B09 ハシボソガラスはどんなクルミを選ぶべきか?	青山怜史, 須藤翼, 柿崎洸佑, ○三上修(北海道教育大学)
行動	13:15	B10 シジュウカラの言語能力: 単語と文と文法規則	○鈴木俊貴(京大・生態研)
行動	13:30	B11 局所的に分布するノジコはさえずりに方言があるか?	○濱尾章二(国立科博・動物), 小松遥奈(帝京科学大・生命環境), 篠原正典(帝京科学大・生命環境)
行動	13:45	B12 モズのサブソングの複雑さは、雄の年齢の高さを表す正直なシグナルである	○西田有佑(大阪市大・院理), 高木昌興(北海道大・院理)
行動	14:00	B13 なぜこんなにもまつぼっくりがおちているのか	○三上かつら(バードリサーチ)
行動	14:15	B14 鳥類の行動データと方向に関する回帰モデル	○島谷健一郎(統計数理研究所)
行動	14:30	B15 加速度による繁殖期のクロアシアホウドリの夜間採食の検出	○塚本祥太, 西沢文吾(北大水産), 佐藤文男, 富田直樹(山階鳥研), 綿貴豊(北大水産)
行動	14:45	B16 マダガスカル固有種Ward's Vangaの繁殖生態	○中村雅彦(上越教育大・生物), Rija Sylvain Rakotosoa (アンタナナリヴ大学・理学部), Hajanirina Rakotomanana (アンタナナリヴ大学・理学部)・西海功(国立科学博物館)
保全	15:00	B17 枇榔島におけるカムリウミスズメ殺しの犯人は・・・!	○中村豊, Nina Karnovsky, 箕輪義隆, 大槻都子, 古中隆裕, Harry Carter, Darrell Whitworth (海鳥保全グループ)
保全	15:15	B18 小笠原諸島におけるアホウドリ再導入事業の進捗状況	○出口智広, 佐藤文男(山階鳥研), 江田真毅, 泉洋江(北大・総博), 鈴木創 (小笠原原文研), Robert M Suryan (Oregon state), Ellen W Lance (U. S. FWS), 長谷川博(東邦大), 尾崎清明(山階鳥研)
保全	15:30	B19 岡山県吉備中央町でのブッポウソウ個体群の成長動向にかかる属性の測定結果	○合田延寿(日本野鳥の会 香川県支部), 坂本明弘(日本鳥類標識協会)
保全	15:45	B20 ブッポウソウの個体群動態: 個体数が増加しない地域と「湧き出す」地域	○峯光一(南西環境研究所), 加藤想, 中堀清(岡山大学理学部), 高田宜武, 山田明代, 井上理恵, 増成伸文, 南里敬弘, 勝部恭司(生物多様性研究・教育プロジェクト), 中村浩志(元信州大学教育学部), 三枝誠行(生物多様性研究・教育プロジェクト)

18日午前 A会場(E201)

発表分野	開始時刻	タイトル	発表者
生態	10:00	A21 ロシア・レナデルタにおけるコクガンの標識調査	○澤祐介(バードライフ・インターナショナル東京), 佐藤達夫(NPO 法人 行徳野鳥観察舎友の会), 池内俊雄(雁の里親友の会), Vladimir Pozdnyakov (State natural reserve Ust-Lensky)
生態	10:15	A22 音声による鳥類のモニタリングは、鳥の生息状況調査を科学にするか ADAMの現在 = 限界 と 未来 = 可能性	○石田健(東大農)
生態	10:30	A23 主竜類における胃石の形状決定要因の検証—卵鶏を対象とした飼育実験—	○高崎竜司(北大・理), 田中公教(北大・理), 小林快次(北大・総博)
生態	10:45	A24 環境条件に敏感なのは雌雄どちらの性か?繁殖時期と雛のサイズ2型の関係	○乃美大佑(北大・環境科学院), 油田照秋(新潟大), 小泉逸郎(北大・地球環境)
生態	11:00	A25 アカショウビンのさえずり周波数の地理変異	○植村慎吾, 浜地歩(大阪市大 院理 動物機能生態), 高木昌興(北大 院理 多様性生物学)
生態	11:15	A26 新潟県福島潟におけるコジュリンの繁殖地帰還と配偶関係	○千葉晃
生態	11:30	A27 コウノトリは本当に採餌が下手なのか?—コウノトリの郷公園西公開ケージに飛来する野外個体の採餌行動より—	○古城夏海, 江崎保男(兵庫県立大・大学院・地域資源マネジメント研究科)
その他	11:45	A28 複数の個体間で生体や位置情報を更新・共用するトランシーバの相互通信性能に関する実験的評価	○北野利彦, 中田薫, 秦順一, 中島功(東海大学), 仲村昇, 尾崎清明(山階鳥類研究所)
その他	12:00	A29 食道カテーテル内の角速度センサと血圧の相関	○中田薫, 北野利彦, 中島功, 田中幸恵(東海大学), 秦順一(実験動物中央研究所)

18日午前 B会場(E301)

保全	10:00	B21	道北サロベツ地域におけるシマアオジの生息地の変遷と現状	○長谷部真(NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク), 富士元寿彦
保全	10:15	B22	福島県富岡町における鳥類の生息状況について -2016年経過報告-	○板谷浩男((株)緑生研究所), 木本祥太(日本野鳥の会石川), 鬼久保正浩(パシフィックコンサルタンツ(株))
保全	10:30	B23	風力発電施設建設前と工事中のクマタカの行動圏の比較	○西林 直哉(東京都市大学, 日本気象協会), 北村 亘(東京都市大学)
保全	10:45	B24	風力発電所建設による鳥類の繁殖密度への影響 (完成年度)	○武田恵世(日本野鳥の会・三重)
保全	11:00	B25	UAVを用いたマガンねぐらの環境収容力の推定	○嶋田哲郎(伊豆沼財団), 神山和夫(バードリサーチ), 森 晃, 藤本泰文(伊豆沼財団)
保全	11:15	B26	ハクガン <i>Anser caerulescens</i> の日本への飛来状況	○佐場野裕, 上村左知子, 吳地正行(日本雁を保護する会)
保全	11:30	B27	沖縄島北部やんばる地域の固有鳥類ノグチゲラ・ヤンバルクイナ・ホントウアカヒゲの2007年から2016年における繁殖期の分布回復傾向について	○小高信彦(森林総研・九州), 久高将洋, 大城勝吉(Yambaru Green), 中田勝士(環境省・やんばる), 高嶋敦史(琉大・農・与那フィールド), 城間篤(辺土名高・現向陽高校), 渡久山尚子(東村博物館), 宮本麻子(森林総研), 齋藤和彦(森林総研・関西), 八木橋勉(森林総研・東北)
保全	11:45	B28	針葉樹植林地によって断片化した広葉樹林パッチにおける、果実食鳥の種数・個体数の規定要因: 景観構造・林分特性・餌資源量の相対的重要性	○吉川徹朗(森林総研), 原澤翔太, 井鷲裕司(京大院・農), 新倉夏美, 小池伸介(東京農工大・農), 滝久智, 直江将司, 正木隆(森林総研)
保全	12:00	B29	カラスによる卵の捕食を防ぐためのペンキ卵の活用《第1報》	○早川雅晴(植草学園大・発達教育), 伴野修一(千葉市動物公園), 服部卓朗(ふくおか湿地保全研究会)
保全	12:15	B30	孵化直後のライチョウの雛が母親の盲腸糞を食べる行動の意義について	○小林篤(東邦大・理), 中村浩志(中村浩志国際鳥類研究所)

# ポスター発表

発表番号が奇数 17日(16:00-18:15)

発表番号が偶数 18日(13:30-15:45)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生態	P001	和歌山県におけるイソヒヨドリ分布とその変化について	○岩本二郎(和歌山県立自然博物館)
生態	P002#	水上・地上でのウトウの安静時代謝率の変化と比較	○梅山愛加・新妻靖章(名城大・農)
生態	P003	Autumn Migration of Black-faced Spoonbill ( <i>Platalea minor</i> ) Tracked by Wild-Tracker in East Asia	Jung Sang Min (Faculty of Science Education, Jeju National University), Jung-Hoon Kang (National Research Institute of Cultural Heritage, Cultural Heritage Administration of Korea), Kisup Lee (Seoul Zoo, Seoul Grand Park), Hansoo Lee・In-Kyu Kim, Si-Wan Lee, ○Tehan Kang (Korea Institute of Environmental Ecology)
生態	P004#	フクロウ <i>Strix uralensis</i> が好む繁殖環境の推定	○草間由紀子, 小池文人(横浜国大院・環), 滝沢和彦(日本野鳥の会長野支部)
生態	P005	Migration of Vega Gulls <i>Larus vegae</i> wintering on the East Coast of Korea	Dong-Won Kim, Hwa-Jung Kim (National Institute of Biological Resources), In-Kyu Kim (Korea Institute of Environmental Ecology), In-Ki Kwon (Department of Biology, Kyunghee University), Tehan Kang, ○Si-Wan Lee (Korea Institute of Environmental Ecology), Jin-Young Park, Jin-Han Kim (National Institute of Biological Resources)
生態	P006#	大規模公園緑地におけるオナガの生息状況と周辺環境との関係	○森塚晶人, 仁賀木佳純, 片倉慶子, 安藤陽平(千葉大・園芸), 中村忠昌(NPO法人生態教育センター), 加藤頭, 小林達明(千葉大・園芸)
生態	P007	北海道苫小牧市に新規定着したカササギの食生活	○森岡正博, 村山恒也, 小宅成美(筑波大学), 中下留美子(森総研)
生態	P008#	河川が都市の鳥類多様性に与える影響: 函館市亀田川的事例	○中川優奈(北海道教育大学函館校), 三上かつら(バードリサーチ), 三上修(北海道教育大学函館校)
生態	P009	北海道北部オホーツク海側に生息するチュウヒの食性	○鈴木祐太郎, 工藤晃央, 土門優介, 中村紘喜((株)ドーコン), 一北民郎(北電総合設計(株)), 川崎康弘・川崎里実(日本野鳥の会オホーツク支部), 先崎啓究・先崎愛子(道央鳥類調査グループ)
生態	P010#	大東諸島におけるリュウキュウヒクイナの分布特性と移入種キジの影響	○澤田純平(大阪市大・院理・動物機能生態), 高木昌興(北大・院理・鳥類生態)
生態	P011	山口県上関町海域(瀬戸内海西部)におけるカムリウミスズメ家族群の確認と羽衣変化	○山本尚佳, 嶋田淑子, 高島美登里(上関の自然を守る会)
生態	P012#	ダイトウコノハズクの巣内雛の成長様式	○岩崎哲也, 松尾太郎, 赤谷加奈(大阪市大・院理・動物機能), 松井普(北海道海鳥センター), 高木昌興(北大・院理・多様性生物)
生態	P013	繁殖期におけるヤイロチョウの鳴き声の特徴	○植松永至(信州タカ渡り研)
生態	P014#	マイクロホンアレイを用いたプレイバック実験に基づくウグイスのさえずりの方向分布分析	○炭谷晋司(名古屋大学・情報文化・自然情報), 松林志保(名古屋大学・情報科学・複雑系科学), 鈴木麗聖(名古屋大学・情報科学・複雑系科学)
生態	P015	マツ混交林におけるヨタカの生息密度となわばりの分布	○多田英行(日本野鳥の会岡山県支部)
生態	P016#	西表島低地における冬期のカムリワシの利用環境	○田中詩織(東海大院・人間環境), 水谷晃(東海大・沖縄地域研), 山本誉士(名古屋大院・環境), 晝間さよこ(東海大院・人間環境), 関東準之助(環境省野生生物保護センター), 北野忠(東海大・教養), 河野裕美(東海大・沖縄地域研)
生態	P017	ヤブサメ幼鳥は出生地にいつまで留まるか?	○川路則友(森林総研北海道)
生態	P018#	リュウキュウアカショウビン <i>Halcyon coromanda bangsi</i> の繁殖地への帰還率	○浜地歩, 植村慎吾, 櫻井有昌瑚(大阪市大・院理・動物機能生態), 仲地邦博(宮古野鳥の会), 高木昌興(北大・院理・多様性生物学)
生態	P019	大阪湾・阪南2区人工干潟を利用する鳥類の12年間の動向	○風間美穂(きしわだ自然資料館)



発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生態	P020#	ブッポウソウの繁殖生態 一球形の卵を午後産む	○黒田聖子(岡山大学大学院自然科学研究科)
生態	P021	宮島沼周辺の圃場でのドローン飛行に対するマガンの反応	○三戸光(酪農大・環境動物), 牛山克巳(宮島沼水鳥・湿地センター), 鈴木透(酪農大・保全生物), 森さやか(酪農大・環境動物)
生態	P022	北海道十勝平野におけるノスリとオオタカの抱卵開始日の推定	○平井克彦(北海道ラプターコンサベーション), 柳川久(帯畜大・野生動物管理)
生態	P023	木を見て森を見ない? 木を隠すなら森の中? ハシトガラスの営巣条件	○松原始(東大・総合研究博物館), 森下英美子(文京学院大・環境教育センター)
生態	P024	水田環境におけるダイサギとアオサギの採餌戦略-採餌地としての圃場評価と選択行動について-	○大河原恭祐, 三井綾子(金沢大・自然システム・生物)
生態	P025	石狩川流域湖沼群を利用する水鳥の利用状況と多様性評価	牛山克巳(宮島沼水鳥・湿地センター), ○鈴木透, 福田あゆみ(酪農大・環共)
生態	P026	宮城県伊豆沼・内沼におけるクイナ・ヒクイナの生息状況と生息環境	鈴木勝利, ○高橋佑亮, 嶋田哲郎(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
生態	P027	シマフクロウの見えざる戦い -増加ステージに転じたシマフクロウの競争激化と保全対策-	○竹中健(シマフクロウ環境研究会)
生態	P028	マイクロホンアレイを用いた森林性野鳥の定位精度の検証とその応用: 歌の空間的な位置およびタイミングから知る複数種の棲み分け	○松林志保, 鈴木麗瑩(名古屋大学・情報科学・複雑系科学), 小島諒介(東京工業大学・大学院・情報理工学研究科), 中臺一博(東京工業大学・工学院・システム制御系, ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン), 奥乃博(早稲田大学・理工学術院)
生態	P029	同所的に生息するサシバとノスリの餌内容	荒井克人, 西教生, 佐々木高寛(NPO法人ecology&ecolives信州), ○堀田昌伸(長野県環境保全研)
生態	P030	ガンカモ一斉調査結果を活用したガン類渡来羽数変動要因の検討	○尾原正敬((株)千代田コンサルタント)
生態	P031	オガサワラノスリの採餌環境	○葉山雅広(東北鳥類研究所小笠原支部), 野中純(NPO法人オオタカ保護基金), 由井正敏(東北鳥類研究所)
生態	P032	スズメの1年を通して水田利用と人家からの距離	○山口恭弘(農研機構・中央農研・鳥獣害), 笠原里恵(弘前大・農生)
生態	P033	自動撮影法による鳥類のヌタ場利用の研究	○亀村聡・前橋香織(東京農大・農・野生動物), 石坂真悟(多摩川源流大), 松林尚志(東京農大・農・野生動物)
生態	P034	鳥類の飛行予測技術の開発と精度検証	○見上伸, 高橋雅也, 星平祐吾((株)日立パワーソリューションズ), 和田伸久, 島田泰夫, 魚崎耕平(日本気象協会), 前川聡(くろしお風力発電(株))
生態	P035	北海道東部の太平洋上におけるウミスズメ科鳥類相とその季節変化	○千嶋淳(NPO法人日本野鳥の会十勝支部, NPO法人エトピリカ基金, 浦幌野鳥倶楽部), 片岡義廣(NPO法人エトピリカ基金), 久保清司(NPO法人日本野鳥の会十勝支部, 浦幌野鳥倶楽部), 青木則幸(NPO法人エトピリカ基金), 鈴木瑞穂(NPO法人日本野鳥の会十勝支部), 長雄一(NPO法人日本野鳥の会十勝支部, NPO法人エトピリカ基金, 北海道立総合研究機構環境科学研究センター)
生態	P036	愛媛県西予市におけるナベヅルのねぐらの利用状況調査	○伊藤加奈(日本野鳥の会), 松田久司(NPO法人かわうそ復活プロジェクト, 日本野鳥の会愛媛), 楠健明(宇和コウノトリ保存会)
生態	P037	札幌市内のコムクドリ繁殖 -渡り時期の移動および営巣地間の移動について-	○竹中万紀子(東海大札幌キャンパス・生物)
生態	P038	カツオドリの繁殖開始時期に影響する要因	○山本誓士(名大院・環境), 河野裕美, 水谷晃(東海大・沖セ), 依田憲(名大院・環境)
生態	P039	佐渡島中部での広域センサスをとおしてみた、繁殖期の放鳥トキの農地利用(予報)	○中津弘, 油田照秋, 永田尚志(新潟大学朱鷺・自然再生学研究センター)
生態	P040	都市近郊で営巣するオオタカの育雛期の食生態について	○芳賀大, 夏原由博(名古屋大・環境学・都市環境)
生態	P041	マイクロホンアレイを用いたオオヨシキリのソングポスト定位	○鈴木麗瑩, 松林志保(名古屋大学・情報科学・複雑系科学), 斎藤史之, 村手達佳, 増田智久, 山本晃一(いであ株式会社), 小島諒介(東京工業大学・情報理工学・情報環境学), 中臺一博(東京工業大学・工学院・システム制御系, ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン), 奥乃博(早稲田大学・理工学術院)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
生態	P042	毎日運行する船舶でのツバメの営巣例	○平岡考(山階鳥研), 石井泉(伊東市富戸「光海丸」)
生態	P043	ツミ <i>Accipiter gularis</i> 同一個体の鳴き声のブレ	○烟隆弘((株)プレック研究所, 小森谷由紀)
生態	P044	東京湾奥部およびその周辺におけるアカガシラサギの飛来状況について	○中村忠昌, 大原庄史, 吉田祐一(NPO法人生態教育センター), 小島みずき(NPO法人生態教育センター, 日本野鳥の会東京), 鈴木弘行(日本野鳥の会東京), 芝原達也, 星野七奈, 椎名明日香(NPO法人生態教育センター)
生態	P045	東京都港区 第六台場におけるサギ類の繁殖の経年変化 -水上バスからの観察方法の検討と、繁殖時期による構成種の変化-	○白井剛(都留文科大学)
行動	P046#	スズメにおける胚の性特異的死亡: 生理的・生態学的要因の解明	○加藤貴大, 沓掛展之(総研大・先導科学)
行動	P047	スズメによるシジュウカラ巣箱の乗っ取り条件	○北村亘(東京都大・環境)
行動	P048#	仲ノ神島におけるカツオドリの採餌海域	○鈴木範星ダニエル(東海大・海洋), 水谷晃(東海大・沖縄地域研), 山本誉士, 依田憲(名古屋大・環境), 河野裕美(東海大・沖縄地域研)
行動	P049	野生ヤンバルクイナの基盤使用によるカタツムリ採食行動	宮澤楓, ○島田将喜(帝科大・アニマルサイエンス)
行動	P050#	カワウ・アオサギ混合コロニーにおける捕食者と対捕食者行動	○本多里奈, 東信行(弘前大・院・農生)
行動	P051	オオバンの渡り衛星追跡	○時田賢一(岩手大・農), 土方直哉(慶應大・政策メディア), 溝口文男(出水のツルと野生生物研究会), 内田聖(里山自然研究会), 樋口広芳(慶應大・政策メディア)
行動	P052#	ルリガシラセイキチョウ雌雄における求愛ディスプレイの第三者効果	○太田菜央(北大・生命科学院), Manfred Gahr (マックスプランク鳥類研究所), 相馬雅代(北大・理学研究院)
行動	P053	ホッピングを行う鳥類と行わない鳥類の判別方法	○山崎優佑
行動	P054#	A novel technique for detecting nocturnal owls in the dark (夜行性フクロウ類を見つけるための新技術)	○先崎理之(北大・農院)
行動	P055	千歳川流域におけるガン・白鳥類の中継地利用の分散について ~ 長都沼から近隣の遊水池へ ~	○佐藤ひろみ
行動	P056#	タンチョウのダンス: 双方向コミュニケーションとしての特徴と機能	○武田浩平, 沓掛展之(総研大・先導研)
行動	P057	佐渡市の水田におけるトキとサギ類の採餌採餌動の比較	○後藤由香, 熊田那央
行動	P058#	ヤマガラは雌雄で異なる給餌戦略を示す-餌を分けるか・分けないか-	○石井絢子(九大院・シス生), 江口和洋(国東市), 粕谷英一(九州大・理)
行動	P059	西日本で越冬するカモ類の渡り	○土方直哉(慶應大・院・政策メディア), 平岡恵美子(里山自然史研究会), 藤田祐樹(沖縄県立博物館), 山口典之(長崎大・院・水環), 内田聖(里山自然史研究会), 時田賢一(岩手大・農), 尾上和久(日本野鳥の会福岡), 片岡宣彦((株)鳥類環境), 須川恒(龍谷大深草学舎), 山根みどり(仮認定NPO 法人タンチョウ保護研究グループ), 馬田勝義(日本野鳥の会長崎), 溝口文男(出水のツルと野生生物研究会), 伊関文隆(NPO法人希少生物研究会), 植田睦之(NPO法人バードリサーチ), 高木憲太郎(NPO法人バードリサーチ), 岡部海都(九州環境管理協会), 中山文仁(自然環境研究センター), 勝野史雄(日本野鳥の会福岡), 木戸光代(日本鳥類標識協会), 大谷蘭(NPO法人四街道メダカの会), 塚勝重(伊丹の自然を守り育てる会), 丸山健司(日本野鳥の会岡山), 水村春香(慶應大・環境情報), 土光智子(慶應大・SFC 研究所), 陳文波(慶應大・SFC 研究所), 樋口広芳(慶應大・院・政策メディア)
行動	P060	札幌市内の都市緑地におけるオシドリの繁殖の変遷	○新田啓子(NPO法人真駒内芸術の森緑の回廊基金・日本オシドリの会)
行動	P061	無人録音により採取した三宅島ウチヤマセンニュウの音声	○黒田治男(兵庫県太子町), 百瀬浩(農研機構・中央農研・鳥獣害), 西海功(国立科学博物館・動物), 山本裕(日本野鳥の会)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
行動	P062	美しくないツバメのオスほどかわいさに投資する	○長谷川克, 新井絵美(総研大・先導研)
行動	P063	托卵鳥を使ってソウシチョウを減らせなにか	○東條一史(森林総研), 中村秀哉(常磐大学)
行動	P064	都市部におけるカルガモの行動とビオトープの役割	林豊(清水建設(株)), ○矢澤正人((株)数理設計研究所), 時田賢一(岩手大学), 内田聖(里山自然研究会), 横田樹広(東京都市大学), 東淳樹(岩手大学)
進化	P065	シマフクロウの染色体解析とフクロウ科における核型進化の推定	○西田千鶴子(北大・院理), 宇野好宣(名大院・生命農), 泉洋江(北大・総博), 増田隆一(北大・院理), 黒岩麻里(北大・院理), 松田洋一(名大院・生命農)
進化	P066#	鳥類における弁足の進化とその形成機構~パンとオオパンの胚発生と比較から~	○松下浩也(東邦大・理学部生物学科), 土岐田昌和(東邦大・理学部生物学科)
進化	P067	一般参加型調査「メジロとランチ♪」から探るメジロの子育て	○堀江明香(パードリサーチ)
系統	P068#	環日本海地域を網羅したカケス <i>Garrulus glandarius</i> の集団構造の解明と集団史の推定	○青木大輔(北大・理), 木下豪太(京大院・農), Alexey Kryukov (Russian Academy of Science), 西海功(科博), Sang-im Lee (ソウル大・理), 鈴木仁(北大院・環境科学)
系統	P069	足で獲物を捕らえるトリの趾骨について	○小木曾チエ
系統	P070#	チュウジシギの地理的変異	○小田谷嘉弥(我孫子市鳥の博物館)
保全	P071	トヨタ自動車新研究開発施設事業におけるブッポウソウの巣箱利用について	○清田佳奈(トヨタ自動車株式会社), 安田耕治, 陳有((株)テクノ中部), 大畑孝二(日本野鳥の会), 高橋伸夫(愛知県野鳥保護連絡協議会)
保全	P072#	道内 2 地域の湿地・耕作放棄地における鳥類群集の比較	○埴岡雅史(北大院・農), 山浦悠一(森林総研・植生), 先崎理之, 中村太士(北大院・農)
保全	P073	再導入されたトキの個体数増加とその推定	○岡久雄二(環境省佐渡自然保護官事務所), 永田尚志(新潟大 朱鷺・自然再生学研究中心), 尾崎清明(山階鳥類研究所)
保全	P074#	モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査データを用いた九州における飛来地予測と保全に向けた考察	○田辺篤志(熊本大院自然科学研究科), 皆川朋子(熊本大院先端科学研究部)
保全	P075	巣への出入り頻度に基づいたイヌワシの遭遇確率	○前田琢(岩手県環境保健研究センター)
保全	P076#	落下羽毛から抽出した DNA 遺伝子型によるシマフクロウの個体識別と分散確認	○秋山拓哉(北大・理), 竹中健(シマフクロウ環境研究会), 増田隆一(北大・理)
保全	P077	屋久島における繁殖期の鳥類相~約30年前と比較して~	○中原亨, 久保裕貴(九州大学大学院システム生命科学府)
保全	P078#	奄美大島の森林の樹洞における樹洞営巣性鳥類の利用可能性: 伐採履歴, 森林構成を踏まえて	○井上奈津美, 井上遠(東大・農), 松本齊(東大・農(現所属: (株)ジービーエス)), 大谷雅人(兵庫県大・自然研), 吉田丈人(東大・総合文化), 鷲谷いづみ(中大・理工)
保全	P079	世界最大オオミズナギドリ御蔵島繁殖集団とノネコ問題	○岡奈理子(山階鳥類研究所)
保全	P080#	道央におけるアカモズの個体数調査と生息地選択	○北沢宗大(北大・農), 先崎理之(北大院・農), 山浦悠一(森林総研・植生), 河村和洋, 埴岡雅史(北大院・農)
保全	P081	外来種サンジャクの四国南西部における野生化と定着状況	○佐藤重穂(森林総研・北海道), 濱田哲暁(東洋電化テクノリサーチ), 谷岡仁(香美市在住)
保全	P082	都市域の4つの中小河川を利用する水辺性鳥類の比較	○金森充晃(明大院・農), 倉本宣(明大・農)
保全	P083	地域鳥類目録から見えてくるもの 『かながわの鳥』の実績から	○秋山幸也, 渡邊謙二(日本野鳥の会神奈川支部鳥類目録編集委員)
保全	P084#	エゾシカの高密度化が草原性鳥類に与える影響 -野付半島の事例-	○佐藤瑞奈(酪農学園大学大学院 野生動物保護管理学), 石下亜衣紗(別海町観光開発公社), 吉田剛司(酪農学園大学大学院 野生動物保護管理学)
保全	P085	釧路地域におけるクイナの生息状況について	○貞國利夫(釧路市立博物館), 鈴木敏祥(日本野鳥の会), 角田真穂, 東川翔太(無所属), 原田修(日本野鳥の会), 本藤泰朗(温根内ビジターセンター), 矢萩樹(釧路公立大学), 吉野智生(釧路市動物園)
保全	P086#	多雪環境の中山間地における水田耕作放棄後の植生遷移が鳥類群集に与える影響	○出口翔大(新潟大院 自然研), 箕口秀夫(新潟大 農)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
保全	P087	タンチョウは何を食べているのか	○吉野智生, 飯間裕子(釧路市動物園, 酪農大院・獣医), 志村良治・松本文雄(釧路市動物園)
保全	P088	コアジサシ <i>Sterna albifrons</i> の営巣地の誘致	○箕輪義隆(水鳥研究会), 桑原和之(千葉県立中央博物館), 國岡幸浩(千葉市環境保全課)
保全	P089	シマフクロウのMVP(最小存続可能個体数)算出の試み	○早稲田宏一(特定非営利活動法人EnVision 環境保全事務所), 竹中健(シマフクロウ環境研究会)
保全	P090	北海道の海鳥における洋上風力発電に対する脆弱性	○浦達也(日本野鳥の会 自然保護室)
保全	P091	センサーカメラを森林性猛禽類の営巣林に設置してわかること	○松岡和樹, 嘉藤慎謙((株)地域環境計画), 米田裕之(北海道恵庭市), 平井克玄(北海道ラプターコンサベーション), 柳川久(常畜大・野生動物管理)
保全	P092	南関東のコアジサシの動向と営巣地における保全対策	○奴賀俊光(バードリサーチ, リトルターン・プロジェクト), 北村亘(東京都市大, リトルターン・プロジェクト), 早川雅晴(植草学園大, リトルターン・プロジェクト)
保全	P093	定着するか!ヤンバルクイナ ( <i>Gallirallus okinawae</i> ) の南限個体	金城道男, ○金城貴也, 山城須賀子, 仲地学, 向真一郎, 玉那覇彰子, 長嶺隆(NPO法人どうぶつたちの病院沖縄)
保全	P094	三宅島における2000年噴火後のアカコッコの個体数の推定	○手嶋洋子, 田尻浩伸, 内藤明紀, 大久保香苗(日本野鳥の会 保全プロジェクト推進室)
保全	P095	九十九里浜におけるシロチドリの子の孵化の確認	○守屋年史(バードリサーチ), 佐藤達夫, 岩崎加奈子(行徳野鳥観察舎友の会), 奴賀俊光(バードリサーチ, リトルターン・プロジェクト), 北村亘(東京都市大学, リトルターン・プロジェクト), 茂田良光(山階鳥類研究所)
保全	P096	企業とNGOの共同調査に基づくシマフクロウ生息地の保全事例	○松本潤慶(日本野鳥の会), 石川学, 中田陽一郎(日本製紙(株)), 山岸洋樹, 野田奈未, 大森貴史, 竹前朝子, 田尻浩伸(日本野鳥の会)
保全	P097	エゾシカの採食圧によるハマナス群落の衰退が草原性鳥類に及ぼす影響について	○山岸洋樹, 善浪めぐみ, 手嶋洋子, 田尻浩伸(日本野鳥の会), 外山雅大(根室市歴史と自然の資料館)
保全	P098	保残伐施業(REFRESH):第2セットまでの伐採前後における鳥類相の比較	○雲野明(道総研・林試), 山浦悠一(森林総研)
保全	P099	オオミズナギドリの中規模繁殖地である粟島におけるノネコの生息数推定と個体群管理の試み	○山本麻希, 和賀菜苗, 大平知恵(長岡技大生物), 白井正樹(電中研), 依田憲(名大)
	P100	講演中止	
保全	P101	タンチョウ <i>Grus japonensis</i> の営巣地点とヒトとの距離の変遷	○正富欣之(タンチョウ保護研究グループ)
保全	P102	ハシブトガラスによるカムリウミスズメの捕食例	手嶋洋子, ○田尻浩伸, 佐藤智寿(日本野鳥の会 保全プロジェクト推進室)
保全	P103	仙台市沿岸部水田域の津波後の鳥類生息状況	○平泉秀樹(仙台湾の水鳥を守る会)
その他	P104#	水槽内のコサギによる陸上植栽への窒素供給を可視化する:水鳥が提供する生態系サービスの水族館における展示の可能性	○風間麻未, 風間健太郎(北海道大学 水産科学院)
その他	P105	ワースト1は江ノ鳥?!ワースト2は相模川河口?!神奈川県内の鳥類釣糸被害の状況について	○本間幸治
その他	P106#	釧路市におけるオオセグロカモメの営巣と被害の実態について	○矢萩樹(釧路公立大学・北海道海鳥保全研究会)
その他	P107	柳原要二が大正14年(1925)から昭和3年(1928)に購入した折居彪二郎の剥製について	○説田健一(岐阜県博物館)
その他	P108#	奄美大島における録音による森林性鳥類モニタリングの可能性とその手法	○井上遠, 井上奈津美(東大・農), 吉田丈人(東大・総合文化), 鷲谷いづみ(中大・理工)
その他	P109	マイクロ波を使った鳥類の非接触心拍呼吸モニタ	○中島功, 中田薫, 村木能也, 北野利彦, 内藤佳津子(東海大学), 三橋國嶺(星槎大学)
その他	P110#	栄養状態が代謝率と炭素・窒素安定同位体比に及ぼす影響	○鷲見知美, 新妻靖章(名城大・農), 井上裕紀子, 勝又信博, 岡本慶(国際水産資源研究所), 香山薫, 五島渉, 吉川尚基(伊豆・三津シーパラダイス)
その他	P111	カラスの侵入を抑えるテグス間隔と畑作物における設置方法	○吉田保志子, 佐伯緑, 山口恭弘, 百瀬浩(農研機構・中央農研・鳥獣害)

発表分野	発表番号	タイトル	発表者
その他	P112#	オオミズナギドリとウトウの腸内細菌叢	安西理恵, ○利光菜, 細田晃文, 新妻靖章(名城大学農学部)
その他	P113	特定外来生物カナダガンの対策事例から考える外来種の「根絶」基準	○加藤ゆき(神奈川県博), 葉山久世(かながわ野生動物サポートネットワーク)
その他	P114#	スズメとアオジにおける赤血球エネルギー代謝の比較生理化学的解析	○橋間清香, 後藤樹史(秋大院・生命), 加藤貴大(総研大・先端科学), 涌井秀樹(秋大院・生命), 布村渉(秋大院・生命, 秋大院・理工研セ)
その他	P115	酪農学園大学公認学生サークル野生動物生態研究会と同大野生動物医学センターとの連携で鳥類を対象にした研究概要	浅川満彦(酪農学園大 獣医・感染病理学分野, 同大大学院野生動物医学センター), ○石黒佑紀(酪農学園大 獣医・感染病理学分野)
その他	P116#	ハンブトガラスの嘴における神経走行および感覚機能の解明	○林美紗(宇都宮大・農・動物機能形態), 平尾温司(自治医科大・看護), 青山真人, 杉田昭栄(宇都宮大・農)
その他	P117	小林平一氏資料に見る終戦直後の鳥学	○熊代直生(環境科学大阪(株)), 黒田治男(兵庫県太子町), 相楽充紀(姫路科学館)
その他	P118#	滋賀県ならびに岐阜県における食性分析に基づいたカワウの捕獲効果の検証	○吉田智幸(岐阜大学), 須藤明子((株)イーグレット・オフィス), 浅野玄, 鈴木正嗣(岐阜大学)
その他	P119	京都市の復元型ビオトープ「いのちの森」における20年間の鳥類の記録	○橋本啓史(名城大・農, 京都ビオトープ研究会), 中村進(大阪府立岸和田高等学校, 京都ビオトープ研究会), 須川恒(龍谷大, 京都ビオトープ研究会)
その他	P120#	カラスバト 2 亜種のさえずりの周波数の特徴について	○神谷菊子(北里大院・生物環境), 岡田あゆみ, 岸本和也, 松本翔一(北里大・生物環境), 鈴木創, 堀越和夫(IBO), 神門英夫, 坂下涼子(恩賜上野動物公園), 金城輝雄(沖縄こどもの国), 進藤順治(北里大・生物環境)
その他	P121	新潟県におけるカラス類による農業被害状況について	○那須崇史, 山本麻希(長岡技大生物・工)
その他(形態)	P122#	骨計測値の判別分析によるカモ科における無飛翔性の判別	○渡辺順也(京大・理・地鉱)
その他	P123	ノガンの羽はなぜ茶の湯(茶道)の羽簾に多いのか	○下坂玉起(茶の湯文化学会・生き物文化誌学会会員)
その他	P124	初心者を対象とした捕獲技術講習の取り組み	○千田万里子, 森本元, 仲村昇, 出口智広, 尾崎清明(山階鳥類研究所)
その他	P125	富士山で楽しく学ぶ-垂直分布調査の体験実習法の開発-	○高木憲太郎(バードリサーチ, LASP 富士山鳥類調査研究グループ), 森本元(LASP 富士山鳥類調査研究グループ, 山階鳥類研究所)

# : ポスター賞応募

# 高校生(小中学生)ポスター発表

17日(16:00~18:15)

発表番号	タイトル	発表者
Y01	ツバメに好まれる街とは？	秋山礼（逗子開成高校）
Y02	宇和島市におけるWNV潜在的媒介蚊と渡り鳥の共存リスク評価	金岡紫真・若山勇太（愛媛県立宇和島東高等学校・チームMosquito）
Y03	ケリの繁殖状況と水田（岐阜・西濃地域における考察）	後藤祐子・笠井里佳子・長嶺嘉明（岐阜県立岐阜農林高等学校 動物科学科野生生物班）
Y04	死んだシロカモメが教えてくれたこと -成鳥と幼鳥の拾得遺体から得られた情報-	住岡凜々花（稚内市立稚内中学校）、磯清志（北海道稚内高等学校）
Y05	ブッポウソウはどんな形や色の「ひきうす」を好むのか ~鳥取県西伯郡でのテストチャートを使った実験~	楠 ゆずは（米子市立福米小学校6年）
Y06 (特別枠)	北広島市のゴマシジミ生息地の特徴	松島可奈枝、石ヶ森祐、政岡樹（札幌日本大学高等学校 科学部）
Y07	タンチョウと人の「アース・シェア」を目指して ~自然と地域と人とのつながり~	倉内 渚・村山 太一（北海道標茶高等学校）
Y08 (掲示のみ)	風力発電の風車がサシバの秋の渡りに及ぼす影響 -サシバの秋の渡りのルート の保全はいかにあるべきか-	松岡朋寛・橋本悠平・桑原紘己（愛媛県立南宇和高等学校 自然科学部）（指導：橋越清一）
Y09 (掲示のみ)	植物と鳥の関係Ⅱ クスノキ・クロガネモチ・センダンの種子散布戦略の比較	高田里菜・大島千陽・丸山実里（愛媛県立南宇和高等学校 自然科学部）（指導：橋越清一）
Y10 (掲示のみ)	御荘湾（愛媛県愛南町）の生物多様性と その保全 -鳥類からの考察-	本多真士・武田峻児・山口光輝・安岡尚輝・安田伊織・橋本拓也・山下響・和泉快都（愛媛県立南宇和高等学校 自然科学部） 指導：橋越清一
Y11	ニワトリ胚アポトーシス運命の決定	水上勇佑・松木南々花・小島理明（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校（引率教員 小島理明）
Y12	メジロの亜種や性別は声で識別できる？	大河内衛・北谷大地（大阪府立岸和田高校 生物部）
Y13	多重音声現象の研究	下中里奈・吉田菜穂（大阪府立岸和田高校 教科「探究」課題研究生物ゼミ）
Y14	カワセミの生態調査とその保護を目指して	山口裕々・今野綾乃（北海道札幌旭丘高等学校）
Y15	住宅地のスズメは何を食べているのか？ -糞分析からわかった植物質の割合と種類-	大須賀詩織（兵庫県立長田高等学校 人文・数理探究類型2年）
Y16	武庫川・甲子園浜の鳥類相観察とオーストラリアケアンズとの鳥類相比較	入江祐樹・阿部奏穂・田中健太・今村拓未・大塚輝人・藤山佳穂・的井風花・高田一翔・早川祐・林亮太郎（兵庫県立尼崎小田高等学校・鳥類研究班）
Y17	カワウの観察-遺伝子解析による標識 個体の性判別と捕食魚類調査-	入江祐樹・阿部奏穂・田中健太・今村拓未・大塚輝人・藤山佳穂・的井風花・高田一翔・早川祐・林亮太郎（兵庫県立尼崎小田高等学校・鳥類研究班）
Y18	宮島沼マガン渡来状況の経年変動は、 繁殖地の環境に起因するのか？	河端 千尋・小川 暁史・中川 真里亜・川越 聖哉（北海道滝川高等学校）
Y19	アカゲラ剥製・骨格標本の製作 ~北海道に生息するキツツキの紹介~	川越聖哉・菊田涼・伊藤千夏・中川真里亜（北海道滝川高等学校・科学部）

# 自由集会

16日(15:30-17:30)

発表番号	会場	タイトル	主催者
W1	G	福島第一原発事故から5年 ～ 高汚染地帯の鳥 現在と未来 ～	石田健(東大農), 上田恵介(立教大, 日本野鳥の会), 西海功(国科博), 松井晋(立大理)
W2	I	第18回 ちょっと長めの話を聞く会	中村雅彦(上越教育大・生物)
W4	H	漁業による海鳥混獲の削減をめぐる国際動向と国内での取り組み	越智大介, 井上裕紀子(水産機構・国際水研), 佐藤真弓(バードライフ・インターナショナル)
W5	K	チュウヒ研究の“今” ～最新の知見と保全上の課題～	多田英行(日本野鳥の会岡山県支部), 先崎理之(北海道大学大学院農学院), 高橋佑亮(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)

16日(18:30-20:30)

発表番号	会場	タイトル	主催者
W3	J	北海道及びアジア各地におけるシマアオジの保護戦略	シンバ・チャン(バードライフ・インターナショナル東京)
W6	E	カササギは北海道中に広がるか?	藤岡正博(筑波大学), 長谷川理(エコ・ネットワーク)
W7	G	JOGA第12回集会「ガンカモ類を例に風力発電施設の影響と環境アセスメントを考える」	森口紗千子(新潟大・農), 浦達也(日本野鳥の会・自然保護室), 高橋雅雄(弘前大・農学生命), 笠原里恵(弘前大・農学生命)
W8	H	カラスの噂をどうするかー古くて新しいカラス問題ー	柴田佳秀, 川内博(都市鳥研究会), 中村眞樹子(NPO法人札幌カラス研究会)
W9	I	ドローンを使った鳥類調査	上野裕介(東邦大学), 時田賢一(岩手大学)
W11	K	鳥類研究における 英語の諸問題 : 多様性から考える	島谷健一郎(統計数理研究所)

17日(18:30-20:30)

発表番号	会場	タイトル	主催者
W10	D	鳥の巣昆虫、10年の総括と今後の展望	上田恵介(立教大, 日本野鳥の会), 那須義次
W12	K	カワウを通じて野生生物と人との共存を考える(その19)ーカワウのフンによる生態系サービスー	亀田佳代子(琵琶湖博物館), 熊田那央(バードリサーチ), 加藤ななえ(バードリサーチ)
W13	E	千歳川遊水地へ鳥は来るだろうか?	正富宏之・正富欣之(タンチョウ保護研究グループ)
W14	G	鳥学のススメ ～研究の魅力と鳥系キャリア～	牛山克巳(宮島沼水鳥・湿地センター)
W15	H	島の鳥類とネコ問題	岡奈理子(山階鳥類研究所), 金井裕(日本野鳥の会)
W16	I	日本の鳥の今を明らかにしよう ～全国鳥類繁殖分布調査への誘い～	植田睦之(バードリサーチ), 荒哲平(日本野鳥の会)
W17	J	海鳥類の生態と保全の近況	新妻靖章(名城大学農学部環境動物学研究室), 綿貫豊(北海道大学大学院水産科学院)
W18	N	希少鳥類の研究と保全ー全国の保護増殖事業の現場からー	松井晋(北海道海鳥セ), 長船裕紀(猛禽類保護セ), 岡久雄二(佐渡トキ保護セ), 水田拓(奄美野生生物保護セ)
W19	M	日本列島の種と亜種の分布を問い直す種分化メカニズムの理解に向けて	高木昌興(北海道大学大学院理学研究院), 山崎剛史・齋藤武馬(山階鳥類研究所)

## 展示(E217、E218)

主催者	展示・販売内容	*
株式会社 壺屋総本店	お菓子	○
包み屋	くるみボタン	○
野鳥生活((株)ラスポンチャス)	ステッカー	○
フィールドアート(谷口高司鳥絵工房)	博物画	○
科学バー／株式会社キウイラボ	系統樹ポスター, えぞホネ団	○
北海道シマフクロウの会・しまふくろう会議	展示	—
公益財団法人日本野鳥の会	書籍, グッズ	—
上田恵介のブース	書籍	○
エコ・ネットワーク	書籍	○
昆虫文献 六本脚	書籍	○
株式会社キュービック・アイ	ARGOS	—
株式会社数理設計研究所	調査用具	—
KoEco Inc.	発信機	—
Lotek / Biotrack / Sirtrack	発信機	—

\*:○共済ホールロビーでの展示・販売あり